

清掃だより

No.25

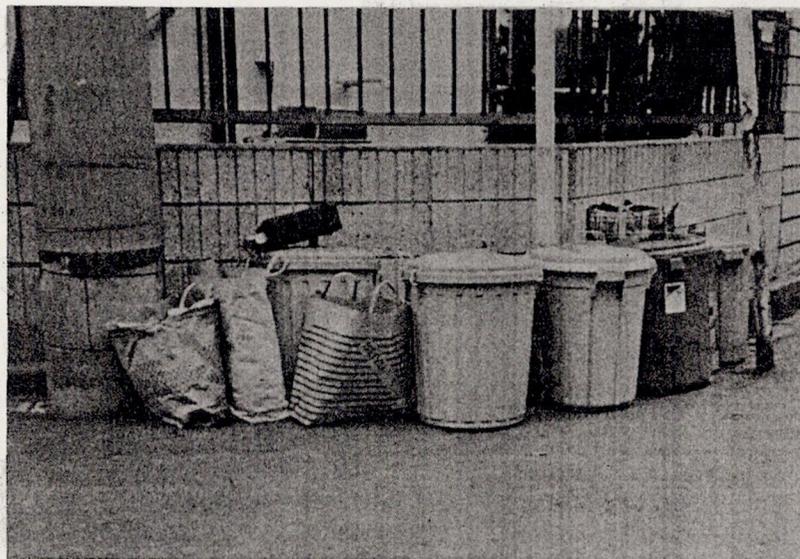
福生市・市民部
環境防災課発行

60.10.25

ひととゴミとモラル

「人間はゴミを出す動物である」となにかの本で読んだことがあります。それは人が生活すれば、必ずゴミが排出されるからです。現代は、使い捨ての時代、または過剰包装の時代ともいわれています。ですからゴミの排出量は、増加の一途をたどっています。

そこで問題になるのがゴミの出し方です。前号の清掃だよりにおいてもゴミの出し方について御協力をお願いしましたが、現在でも、出し方のルールを守らないで出す人がいます。



☑守ってください、分別収集。

処分場も違いますし、集める人も違うからです。可燃ゴミは西多摩衛生組合で、焼却し、不燃ゴミは、市リサイクルセンターで処分します。

☑粗大ゴミの収集は市に収集依頼をして下さい。

粗大ゴミは、約50cm以上の大きさのもの、また、小さくても一度に多量に出るゴミのことです。

☑決められた収集所へ、決められた日に。

決められた時に出せば、収集所は清潔に保てます。収集所は近所の人的人身になって使いましょう。

☑資源となるものは、町会(自治会)の資源回収や回収業者に出しましょう。

※古紙は大事な資源です。眠らせておく手はありません。

☑指定の容器で。

フタのついたポリバケツか紙袋で出して下さい。



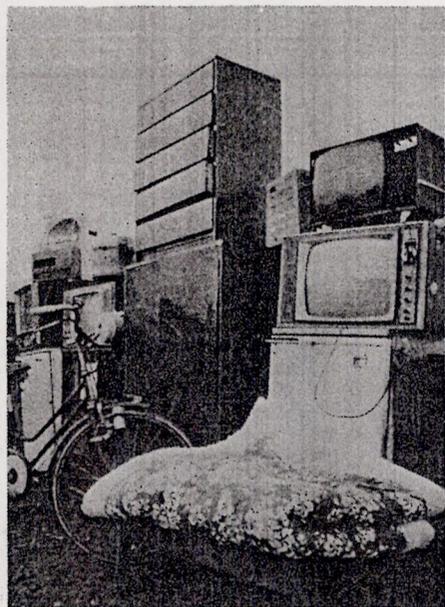
<スクープ>

ふえる粗大ゴミ。

粗大ゴミとは、約50cm以上の大きさのもの、または、小さくても一度に多量に出るゴミのことです。その粗大ゴミが急激に増加しています。昨年と比較しても(4月～9月)

収集件数で330件の増、収集量は約31tの増加です。そこで今回は10月2日の午前中の収集状況をレポートしてみました。

午前8時30分2台の収集車が市役所を出発。私が搭乗した収集車には、本日の午前中の指定が3件あり、まずそれを収集するのです。3件なので収集車1台分位だろうという予想は見事に裏切られました。最初の2件で1台分、残りの1件で1台分あり、処分地である市リサイクルセンターで重さを計測すると、それぞれ160kgと460kgでした。そうこうしているうちに時刻は11時近くになったので午前中の報告のため市役所に立ち寄ると野良猫のへい死の連絡が入っており、それを収集するために市役所を後にしたのです。



ちなみに当日の収集量—2020kg、収集件数—18件、へい死獣処理—1件でした。

現場からのおねがい

※最近品物を外に出しておいてない方がいます。(2階建て以上のアパート等にお住まいの方は下に降してない)品物が外に出ないと車に積み込むのに時間がかかり多くの件数を処理できませんので、必ず品物は外に出しておいて下さい。

※申し込まれたその日に収集することは現在の状況からは困難です。引越しで期限が決められているときや、年末に申し込みをするときには、特に余裕をもって申し込んで下さい。

不法投棄撲滅運動に御協力を!

⇨市民一人ひとりが監視員のつもりで⇩

家をこわした後の廃材、引越しのときに出るゴミ、発泡スチロール等の不法投棄がふえています。こうした不法投棄の防止について、市では、監視の目を光らせています。しかしそのほとんどが夜こっそりと捨て去るなど、取り締りが困難な状況です。不法投棄の発見者は、監視員のつもりで車のナンバー等をひかえ、市に連絡して下さい。

● ちょっといい話 ●

先日、夕陽の中を自転車で帰る途中、ダンボール箱4つぐらい重ねた大きさに、回りを金網で囲ったものが収集所に置いてありました。近づいてみると“お勝手から出るゴミを入れて下さい”というフダが付いていました。「作ったのは、誰だろう」と思いながらその場を去りました。数日後、「あれは、野良猫が収集所を荒すので、大家さんが作った」ということを知人から聞きました。あの入物は、自分達が使っている収集所をいつも清潔にするという気持と、収集する人に対する思いやりを兼ねそなえたものだと思うと季節と反対に心の中が温かくなるのを感じました。

ゴミ・し尿についてのご意見
情報をお待ちしています。

福生市役所市民部環境防災課まで
☎51-1511 内線284・285